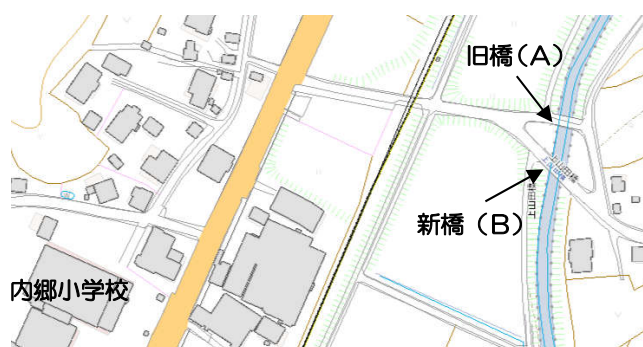


「柏崎の橋」 56 上山田橋 (西山町上山田)

上山田橋は、西山町上山田地区で、別山川に架かる橋である。県道寺泊西山線を北上し、内郷小学校から200mほどの位置にある交差点を右折し、JR越後線の踏切を渡って50mほどで左右に分かれる。分かれてすぐの場所で、それぞれが別山川に架かる橋が、2つとも上山田橋と名付けられている。(本稿では北側の旧橋をA、南側の新橋をBとする。)



現在の上山田橋 (柏崎市GISベースマップより)

2つの橋は、写真で見るとおり、西側で約5m、東側でも約10mしか離れていない。Aは、最近では整備された痕跡が伺えず、欄干部分の所々に破損、錆が生じているが、舗装はさほど痛んでおらず、十分渡れる状態であり、通行止めの表示もない。



新旧上山田橋

昭和58年作成の西山町全図ではAのみが記されており、B及びBが架かる道は記されていない。

なお昭和58年当時は、現在の国道116号(地図の東側1km弱)が完成しておらず、現在の県道寺泊西山線が、国道116号であった。



Bの架橋は、平成元年度に電源三法交付金事業により行われた。平成16年に作成された「多岐の会々報第11号」には、B及びBが架かる道(市道上山田尾内線)が完成したことにより、橋の東側の急カーブが解消され、冬期間の除雪が容易になった、と記されている。

また、同会報によれば、「今後の課題は越後線踏切の拡幅」とあるが、上山田集落から尾野内集落に入るための踏切は、現在でも小型車が1台通れる程度の幅しかなく、課題は解決していない。

現在の2つの上山田橋の周辺は、尾野内集落に入ると同時に山あいとなって、家屋と農地が点在しており、同集落の東側を走る国道116号とは対照的に、交通量も少なく、静かなたたずまいを見せている。

●参考にした本
『多岐の会々報第11号』(224 タキ 11)
尾野内編